

3. 主要指標の見通しと住民の意向

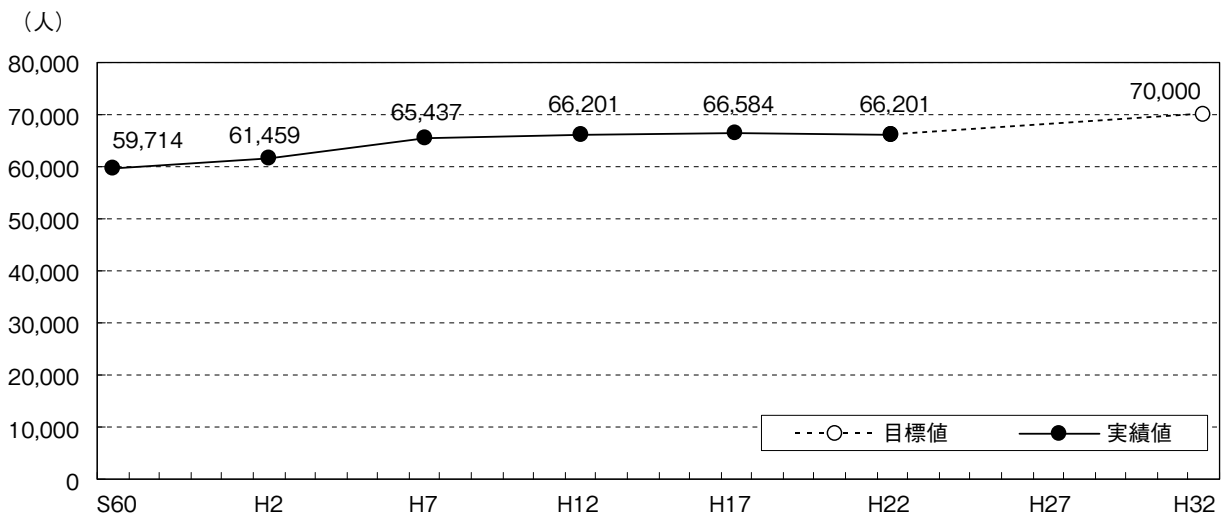
1) 主要指標の見通し

(1) 人口の見通し

新市の誕生により知名度やイメージアップとともに、保健・医療・福祉に関する施策の充実、子育て支援策の展開、就業の場の確保、U・J・Iターンの支援など定住につながる施策を積極的に進めていきます。

そのため、平成32（2020）年における総人口の目標を70,000人とします。

●総人口の見通し



年齢3階級別人口については、構成比で見ると、年少人口は0.5%ほど、生産年齢人口は3.7%ほど低下し、老年人口が約4.4%上昇すると予測されます。

●年齢3階級別人口の見通し

		実績値						目標値
		S60 1985	H2 1990	H7 1995	H12 2000	H17 2005	H22 2010	H32 2020
総人口	人	59,714	61,459	65,437	66,201	66,584	66,201	70,000
0～14歳 年少人口	人	13,492	11,745	11,033	10,308	9,773	9,470	9,660
	%	22.6	19.1	16.9	15.6	14.7	14.3	13.8
15～64歳 生産年齢人口	人	38,571	40,786	43,812	43,544	43,040	41,014	40,810
	%	64.6	66.4	67.0	65.8	64.6	62.0	58.3
65歳以上 老年人口	人	7,651	8,928	10,570	12,349	13,768	15,536	19,530
	%	12.8	14.5	16.2	18.7	20.7	23.5	27.9
年齢不詳	人	0	0	22	0	3	181	-

(2) 世帯数の見通し

1世帯当たりの人員は、今後さらに核家族化が進展し、15年後では2.66人/世帯へと減少するものと想定されます。世帯数の見通しは、総人口と1世帯当たりの人員の見通しから、26,316世帯と想定されます。

●世帯数の見通し

		実 績 値						目標値
		S60 1985	H2 1990	H7 1995	H12 2000	H17 2005	H22 2010	H32 2020
総人口	人	59,714	61,459	65,437	66,201	66,584	66,201	70,000
世帯数	世帯	16,530	17,601	20,423	21,674	22,740	23,459	26,316
世帯人員	人/世帯	3.61	3.49	3.20	3.05	2.93	2.82	2.66

(3) 就業人口の見通し

産業大分類別の就業人口については、以下のとおり想定します。

●産業大分類別の就業人口の見通し

		実 績 値						目標値	
		S60 1985	H2 1990	H7 1995	H12 2000	H17 2005	H22 2010	H32 2020	
総人口	人	59,714	61,459	65,437	66,201	66,584	66,201	70,000	
就業人口	人	30,052	31,169	33,722	33,252	32,671	31,317	33,110	
就業人口比率	%	50.3	50.7	51.5	50.2	49.1	47.3	47.3	
就業人口内訳	第1次産業	人	3,976	3,104	2,763	2,251	2,089	1,502	1,260
		%	13.2	10.0	8.2	6.8	6.4	4.8	3.8
	第2次産業	人	12,461	13,011	13,645	12,417	11,187	9,562	10,530
		%	41.5	41.7	40.5	37.3	34.2	30.5	31.8
	第3次産業	人	13,586	15,050	17,284	18,561	18,965	18,714	21,320
		%	45.2	48.3	51.3	55.8	58.0	59.8	64.4
分類不能	人	29	4	30	23	430	1,539	-	

2) 住民の意向

(「新しいまちづくりに関するアンケート」調査結果の要旨)

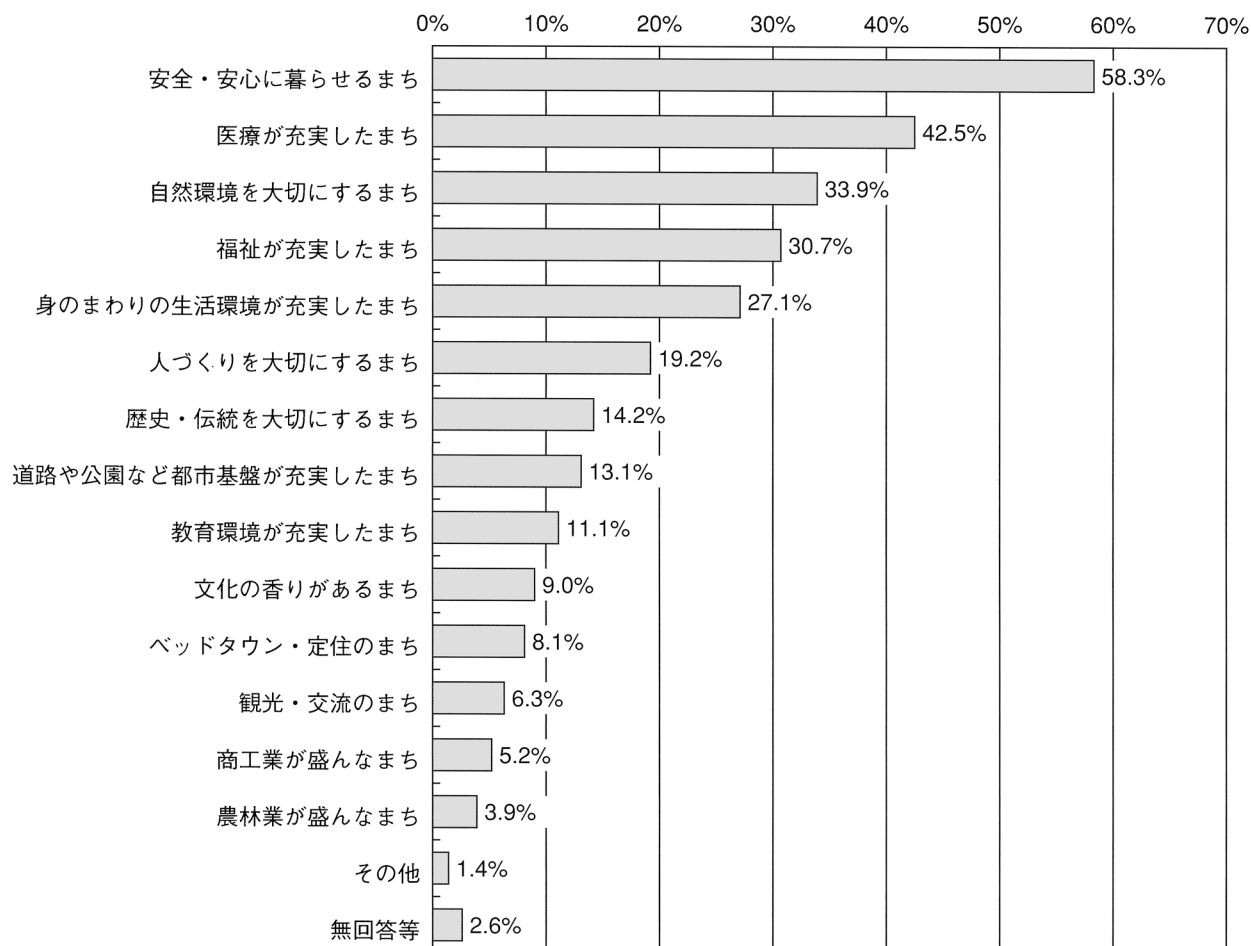
(1) 調査目的・対象・方法

「新しいまちづくりに関するアンケート」調査は、新市の将来イメージなど新しいまちづくりに関する意向を把握し、新市建設計画策定の資料とすることを目的として、平成15(2003)年12月、総社市・山手村・清音村内の20歳以上の方から、人口比に応じて無作為抽出した4,800人を対象に実施したものです。有効回収数は2,345件、回収率は49.1%(発送先未着分を除く)でした。

(2) 新市の将来イメージ

3市村合併後、住民のみなさんが望まれている新市の将来イメージは、「安全・安心に暮らせるまち」が58.3%と最も高く、次いで「医療が充実したまち」、「自然環境を大切にするまち」、「福祉が充実したまち」となっています。

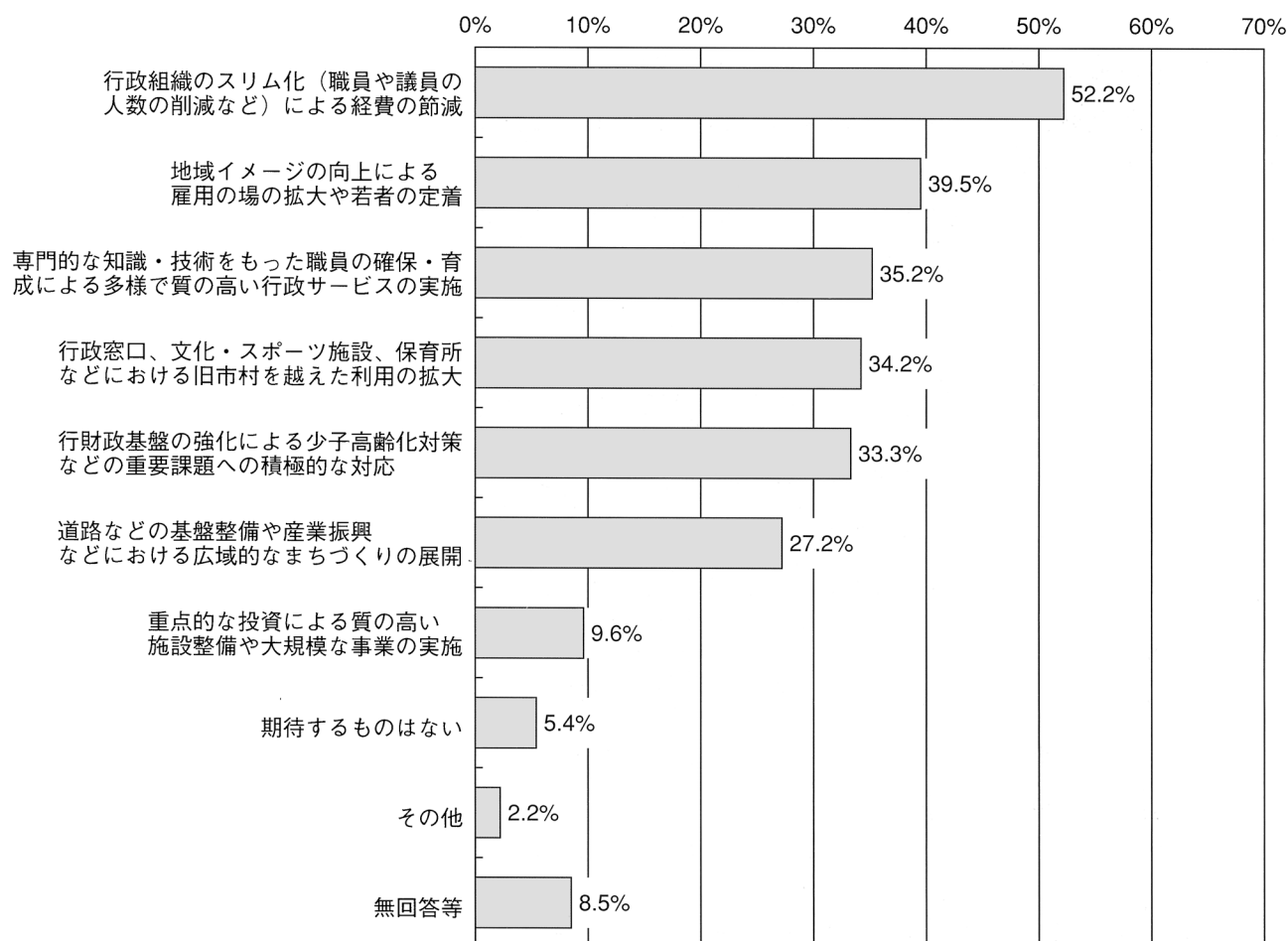
新市の新しいまちづくりでは、3市村に広がる豊かな自然環境を守っていくとともに、医療や福祉が充実し、安全で安心して暮らせる生活環境が望まれています。



(3) 合併に対する期待

住民のみなさんが合併に期待されていることは、「行政組織のスリム化による経費の節減」が52.2%と最も高く、次いで「地域イメージの向上による雇用の場の拡大や若者の定着」、「専門的な知識や技術をもった職員の確保・育成による多様で質の高い行政サービスの実施」の順となっています。

合併に対する期待では、行政経費の削減が最も求められており、雇用の拡大や若者の定着、質の高い行政サービスの充実などが求められています。

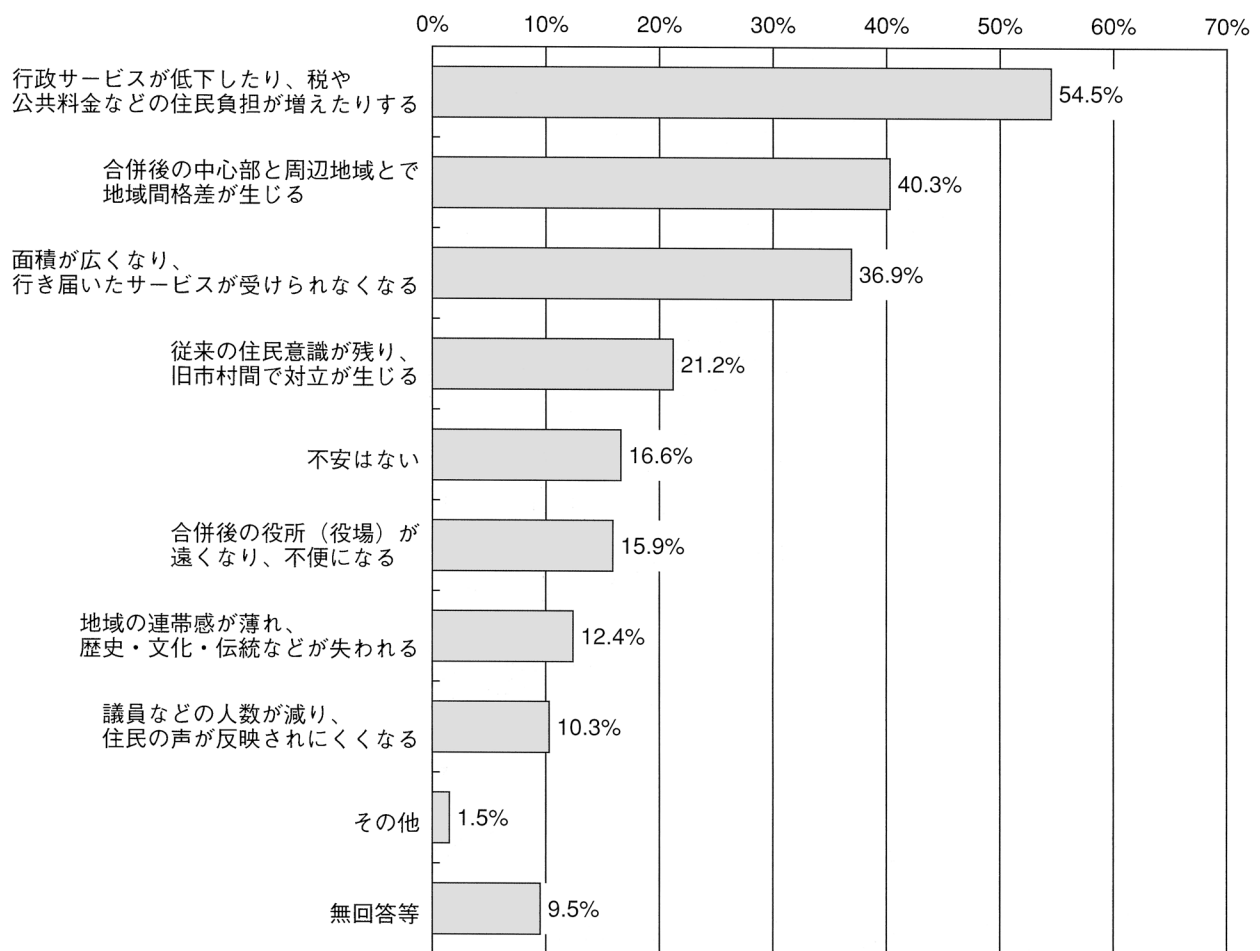


(4) 合併に対する不安

住民のみなさんが合併に対して不安を感じられることは、「行政サービスが低下したり、税や公共料金などの住民負担が増えたりする」が54.5%と最も高く、「合併後の中心部と周辺地域とで地域間格差が生じる」、「面積が広くなり、行き届いたサービスが受けられなくなる」が上位にあがっています。

なお、山手村や清音村では、「合併後の役所（役場）が遠くなり、不便になる」の割合が高くなり、「従来の住民意識が残り、旧市村間で対立が生じる」や「不安はない」の割合が低くなっており、3市村間で違いがみられます。

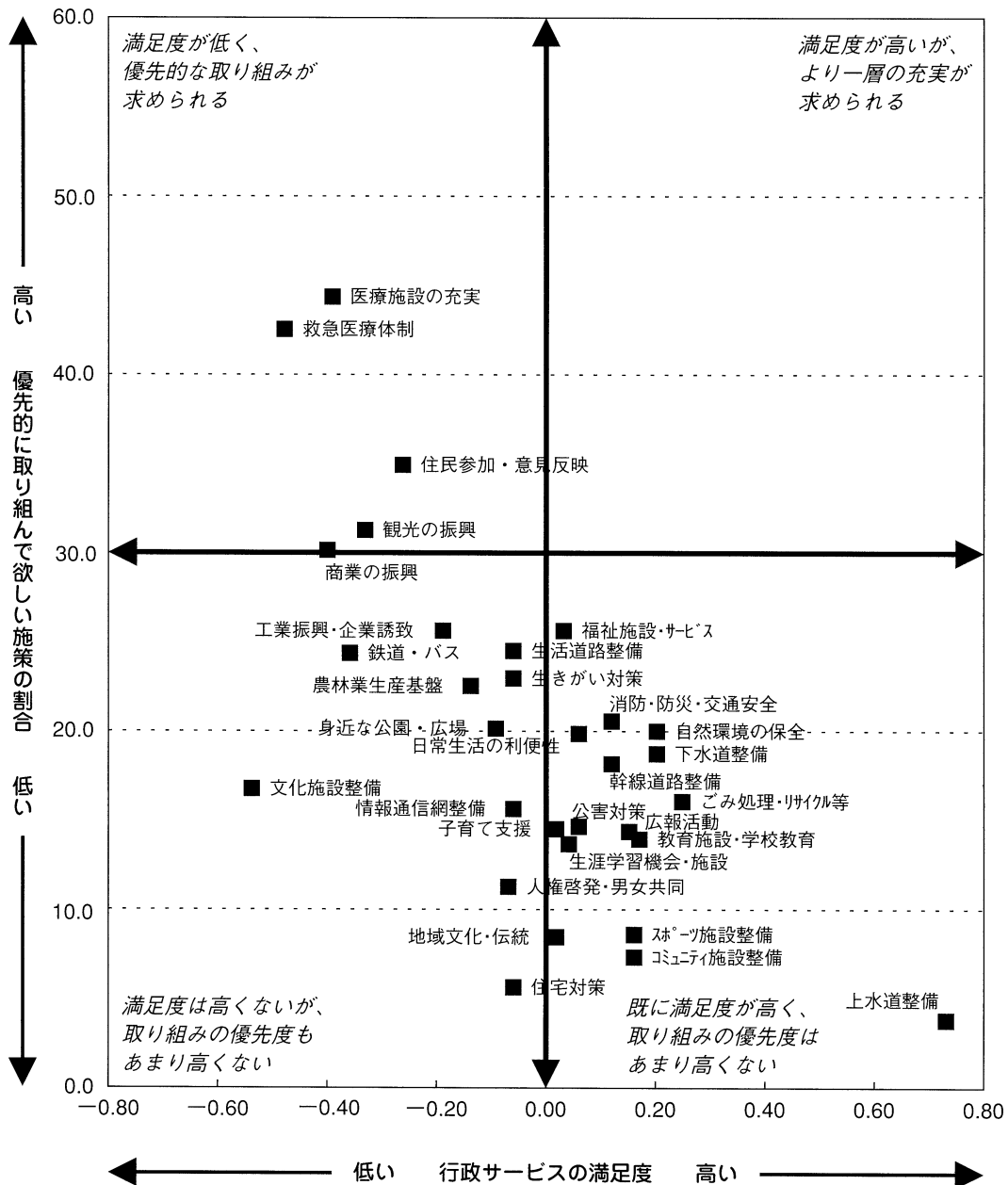
合併に対する不安では、住民負担に対する不安が大きく、行政区域の拡大による地域間格差やサービス水準の低下を懸念されています。山手村や清音村では、合併後の役所（役場）が遠くなることに不安を感じられています。これらの不安を少しでも解消していくことが求められています。



(5) 現在の行政サービスの満足度と合併した場合に優先的に取り組んで欲しい施策

「現在の行政サービスの満足度」を横軸に、「合併した場合に優先的に取り組んで欲しい施策」を縦軸にとって、現在の行政サービスの満足度と合併後に優先的に取り組んで欲しい施策について分析しました。

「病院や診療所などの医療施設」、「救急医療体制」、「市・村政への市・村民参加や意見の反映」などが、住民のみなさんの満足度が低く、優先的な取り組みが求められている施策です。一方、「上水道整備」などは、住民のみなさんの満足度も高く、取り組みの優先度が低くなっています。

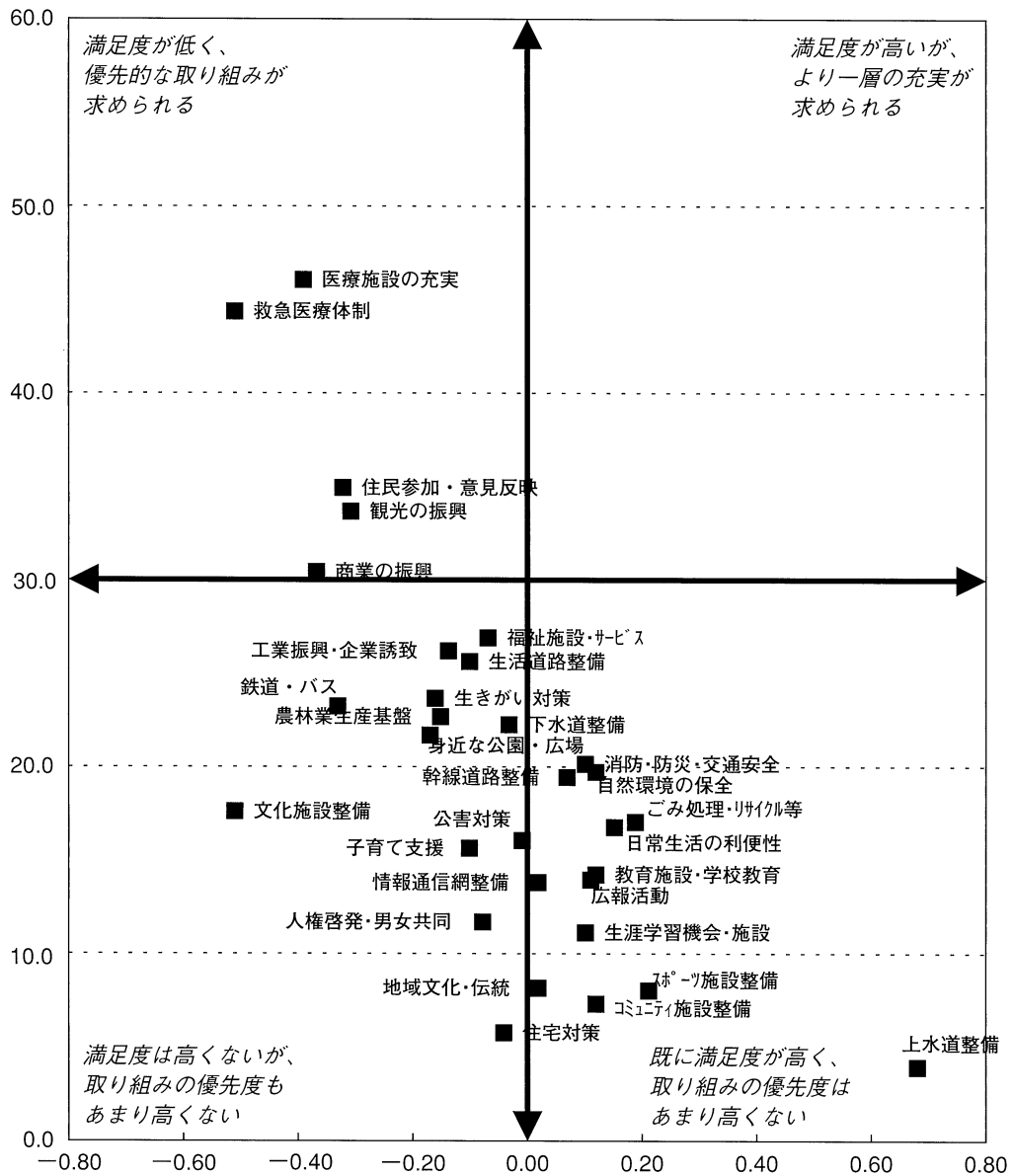


※行政サービスの満足度の点数は、各項目について「とても良い（非常に満足）」を+2点、「良い（満足）」を+1点、「どちらともいえない」を0点、「悪い（不満）」を-1点、「とても悪い（非常に不満）」を-2点として計算し、無回答を除く回答者数で平均したものです。
 ※優先的に取り組んで欲しい施策の割合は、それぞれの項目を選択した回答数の割合を示したものです。

【3市村別】

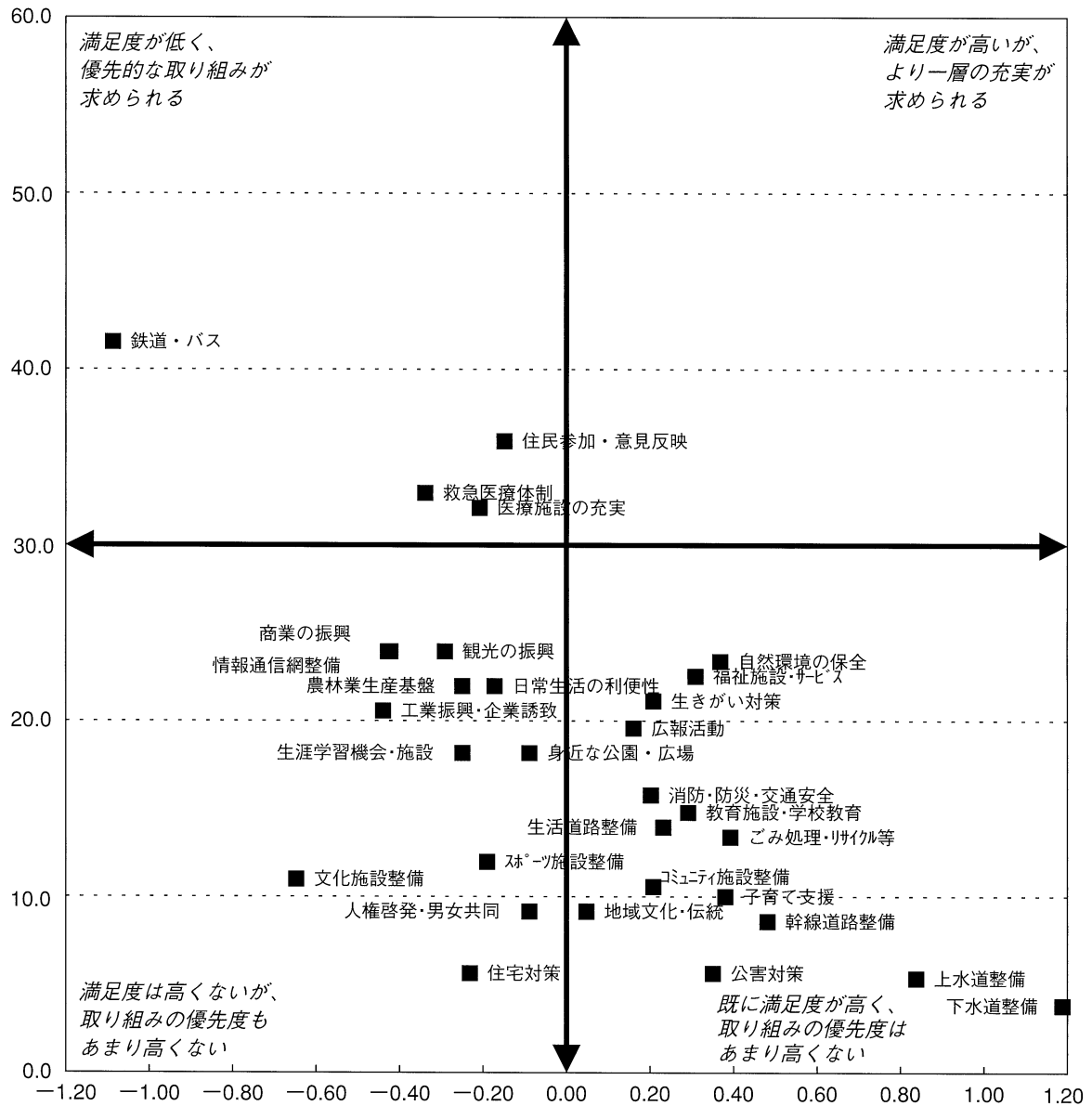
◆総社市

総社市では、「病院や診療所などの医療施設」、「救急医療体制」、「市・村政への市・村民参加や意見の反映」、「観光の振興」などが、住民のみなさんの満足度が低く、優先的な取り組みが求められている施策です。一方、「上水道整備」などは、住民のみなさんの満足度も高く、取り組みの優先度が低くなっています。



◆山手村

山手村では、「鉄道やバスなどの利便性」、「病院や診療所などの医療施設」、「救急医療体制」、「市・村政への市・村民参加や意見の反映」などが、住民のみなさんの満足度が低く、優先的な取り組みが求められている施策です。一方、「上水道整備」、「下水道整備」などは、住民のみなさんの満足度も高く、取り組みの優先度が低くなっています。



◆清音村

清音村では、「病院や診療所などの医療施設」、「日常生活の利便性」、「救急医療体制」、「商業の振興」などが、住民のみなさんの満足度が低く、優先的な取り組みが求められている施策です。「市・村政への市・村民参加や意見の反映」は満足度が高いものの、より一層の充実が求められています。「上水道整備」、「下水道整備」などは、住民のみなさんの満足度も高く、取り組みの優先度が低くなっています。

